

2023年度 年主題〈ともにつむぎだす～希望の中で～〉

0・1・2歳児 7月主題「そうそう」

月のねがい
 ◎保育者の祈りやさんびかに親しむ。
 ◎暑いので汗を流してもらい、心地よさを感じる。
 ◎祈りや賛美を喜ぶ中で神さまとであう。
 ◎自分と同じようなことを楽しむ友だちの存在に気付く。
 ◎水・土・泥などに触れ、感触を楽しむ。

3・4・5歳児 7月主題「心ひらかれて」

月のねがい
 ◎欠席の友だちのこと、また自分の身の回りの心配や喜びを覚えて祈る。
 ◎聖書物語に繰り返し触れ、一人ひとりの感じ方で思いを表したり、静かに受け止めたりする。
 ◎保育者や友だちとの関わりの中で、いろいろな思いを表す。
 ◎互いに思いを伝えあうことを喜ぶ ◎砂、泥、水などの感触を楽しむ



聞いてもらえる喜び

6月24(土)に実施されました「子育て遊びの会・講演会」へのご参加ありがとうございました。久々に保護者同士で、子育てについてのお話が盛り上がったのではないのでしょうか？解決がなくても、自分の悩みや思いを言葉にして伝えたり、聞いてもらうだけで気持ちが少し楽になることもあるのではないのでしょうか。

先日、年長児のK君が涙をたくさん目に浮かべて、怒りながら園庭を一回りしていました。「どうしたの？」と聞くと、「ゼリーが△□#羊…なの@!!」と、言葉にならないほど怒っていました。「そっか。何のゼリー？教えてくれる？」と聞いてみると、涙を拭きながら私をクワガタが入っている虫かごの所に連れて行きました。「このゼリーが倒れちゃったの!!みんながガタガタして見ると倒れちゃったの!!」と、感情は怒りのまましっかり伝えてくれました。「そっか、それは嫌だったね。皆に見せていたのにね。ゼリー元に戻そうか？」と伝えると、怒っていた気持ちも落ち着いて「もう、大丈夫！」と一言でした。子どもが自分の気持ちを聞いてもらうことで、怒りの感情を自分で消化する過程に関わることができた出来事でした。

1学期も残すとこの1ヶ月となりました。子どもたちは裸足になって園庭を駆け回ったり、水を使って涼みながら遊んだり、夏の遊びも楽しんでいるところです。まだまだ今から暑さが増していきます。子どもたちと一緒に「気持ちいいね」「楽しいね」「面白いね」を感じながら過ごしたいと思います。

～子どものつぶやき～

エピソード①
 朝、花に水やりをする5才児Iちゃんに「何で水してんの？」と2才児O君。T「大きくなるようにお水あげてるんだって」O君「ふ～ん」数秒後、水やりをしていた花を見て「あっ！大きくなってらう～☆」と目を輝かせていました(笑)

エピソード②
 ダンゴ虫を観察中の3才児H君とT君。ダンゴ虫のお腹に黄色い粒があるのを見て…、T「お腹に赤ちゃんいる!!」H「違うよ!お星様だよ!!」T「違うよ!お弁当持ってきたんだよ!!」そう、こども園も弁当日でした(笑)

主任 伊豆元

今月の聖句 「見よ、私は新しいことを行う。今、それが芽生えている」

イザヤ43:19
 イスラエルの死海近辺洞窟の中から、約2000年前の種子が発見されました。研究チームはこの種の生育に挑戦し、見事に成功したそうです。発見された種の中から、最も発芽の可能性が高いと考えられた種子34個を選別し、お湯と液体肥料に漬けた後、無菌状態の鉢植え用土壌に植えました。すると、34種子のうち6つの種子が発芽し、最終的にナツメヤシとして育ちました。しかも、今日のナツメヤシよりも大きな実を結んだということです。なんと生命力が強いのでしょうか？

園芸の好きな方は、自分が植えた種が芽を出し、成長し、花を咲かせ、実りをもたらす喜びを知っていることでしょう。小さな種から、大きな、沢山の収穫を得られるのは格別の喜びです。種の中にはそのような生命力や可能性が詰まっているのです。それが時間をかけ、環境を整えば、一気に成長し、芽生えていきます。

こども園での子ども達の成長も似ている点があると思います。一人ひとりが、園での様々な体験や経験を通して、一回りも二回りも大きく成長していくことなのでしょう。内に秘めた賜物が開花することもあるでしょうから、出来るだけ多くの、多種多様な経験を積ませてあげたいものです。そして、このことは子どもだけの話ではありません。大人もどんなに歳をとっても、成長する分野があるのです。出会う様々な人々、嬉しいことも辛いことも悲しいこともあるかもしれませんが、その全ての経験が、私たちを人として一回りも二回りも大きくしてくれるはずですよ。

協力牧師 池田基宣



7月の行事予定

4日(火)	七夕訪問
5日(水)	海遊び(4・5才)・弁当日
6日(木)	海遊び(2・3才)
8日(土)	お泊まり保育(年長児)
19日(水)	市営プール(3~5才)・弁当日
20日(木)	一学期終園式(1号午前保育)
22日(土)	めぐみ誕生会(7月生)
29日(土)	役員会

8月の行事予定

1日(火)	夏季保育
14・15日	弁当日
19日(土)	めぐみ誕生会(8・9月生)
21日(月)	夏季保育
25日(金)	弁当日



正しい自己肯定感

梅雨明け宣言はまだですが、いきなり真夏の陽気が襲ってきました。またまた今年も猛暑日が長く続きそうな予感です。コロナも徐々に増えているようですが、こども園では、RSウイルスに続き、インフルエンザが猛威を振るっています。うがい、手洗い、消毒、換気も継続しますが、大人も子どもも、病気が暑さにも負けないよう免疫力アップを目指しましょう。

私たちは、自分に都合が悪いことが起こったり、負いきれない重荷を負われ親のせいになった時、つい「誰かのせい」にしたいくなるものです。親のせい、子のせい、友だちのせい、社会のせい、等等。しかし、そんなことをしても問題は解決しないのは火を見るより明らかです。第二次大戦中、ビクター・ランクルはナチスの強制収容所に入れられました。妻や子供たち、衣服を含むすべての所有物を奪われ、結婚指輪さえも取り上げられた上で、すべての自由を奪われて拘束されました。しかし「たった一つだけ」決して取り上げられずに済んだものがあつたのです。彼は手記の中で「それらすべての悲惨な状況の中にあつても『自分の態度』を自分で選ぶことのできる自由だけは決して奪われませんでした。私たちが書いているように、まさに強い自己肯定感を感じさせます。私たちが「明日何が起るか」さえも分かりません。というか「今日これからどんなことが起るか」も然りです。私たちは自分を取り巻く環境を統制することはできませんが、それらに対して「どんな態度で」臨むかは選ぶことができます。厳しい状況に打ちのめされるか、それとも自己の成長の糧とするか。恐れに押しつぶされるか、それとも更に深く神に委ねようとするか。己のありのままを肯定し、自分に起こることのすべてが、意味のある計画であると信じ、穏やかに歩みたいものです。

ある精神科医師によると、子どもの自己肯定感の発達過程に、親の価値観や人生観が与える影響は計り知れず、その価値観が偏つたものであればあるほど、その「歪み」は子どもに強化して受け継がれていくとのこと。しかも、世間体を病的に気にする家柄だつたりすれば、他者評価を病的に重んじる、偽りの自己肯定感が育まれてしまいます。親が何事も「他との比較」を重んじ、子どもが優秀で結果を出しがちだつたりすると、自己肯定や自己操縦感「おかしな」方向に偏向していききます。優秀であるが故に、高学歴を得、早くから頭角を表したりするなどして、いわゆる「表面的な結果」を早く出してしまうことがあります。そして、他者から褒められる、一目置かれるという形での「危うい自己肯定感」が築かれてしまいます。本当は脆弱で不安定な自己肯定感なのに、周囲の目には自信満々、明朗闊達に見えてしまふのが怖いところですね。

いよいよ夏本番。海やプール、山や野原で走り回り、カニや小魚やカブトムシを追いかける。時にはロケットが飛んでいく姿を見上げる…。お子さんと一緒に遊びを楽しむ時間は、思いの外短いものです。どうぞ宝物のような瞬間を皆さんで楽しんでください。

学園長

健康被害とメディア機器の危険な関係

スマホやゲーム機器の使用のあり方が、乳幼児の体の成長に大きく影響を及ぼすことがよく言われるようになってきました。今回は、脳と体への影響についての資料を添付します。

8. 脳の機能を保つために

テレビ・スマホ・ゲームなどの映像 → 前頭前野の『考える・想像する』などの活動を停止させる。
 改善していくには・・・

- ★ スクリーンタイムを少なくし、他の時間を勉強や読書に充てるなど工夫する。
- ★ しっかり睡眠をとることが大切

同じようにスマホを利用していても、しっかり睡眠をとっている子供はスマホでのトラブルは少ない。
 五感を利用した学びの方法を取り入れて、脳の機能を十分に活用することが大切。音楽や書く作業も必要。

- ★ デジタル教材の使い方工夫をする。

例・問題を見せて答えを下の3つから選ぶ ⇒ ★ 見て判断 考えない
 ・問題を音読して、答えは画面上にタッチペンで記入 ⇒ ○ 作文を書く事と同じ ⇒ 学力が上がる。

『家でのメディア機器の1日の利用時間を確認してみよう!!』

1時間以上の利用は、『生活の中で何かが疎かになっている。』

9. 体への影響 ~子供の足が縮んできている~

日本の中学生(特に女子)の成長に、驚くべき変化が起きている!

『身長短足の女子が、増加』

※ 30年前の女子中学生の方が、今の中学生よりも下肢(足)が長かったことが判明
 ※ 2020年身体計測の結果、2015年時と比べ
 『中学1年生: 3cm』『高校1年生: 5cm』足が縮んでいることがわかった。

足の伸びを止めていたのは・・・

『日没後のスマホの長時間使用によるブルーライトの照射を受けたことによって、脳が昼間だと勘違いし、成長ホルモンの分泌が止まってしまったから』

ブルーライトには、『目への影響』『睡眠への影響』『体の成長への影響』などの影響がある。

乳幼児にとって睡眠はとても大事なもので、睡眠をしっかりすることで脳機能が成長し、体の骨も成長していくと言われています。園でも朝から、「疲れた・・・」と言っている園児が気になります。睡眠不足から、血管が脳へ回りにくくなっていることが原因と思われる。また、寝ている間に成長ホルモンの分泌が行われ、身長もどんどん伸びていく時期です。子どもの健やかな成長を願うには、早寝・早起き・朝ご飯なのです。保護者の方々には寝る前にスマホをしばらく片付け、お子さんと一緒に絵本の読み聞かせをしていただけたらとても有難いです。

園長

もりすこどもえん

もりすこどもえん